

有名人が投資の助言？そんな広告は投資詐欺！！（2024年4月6日）

2024年から新NISAが始まりました。これまで投資に関心がなかった人もインターネットやSNSで投資についての情報を検索していませんか。ネット上で投資について検索すると、投資に関する広告が表示されるようになっていませんか。

SNS上に表示される広告は要注意です

森永卓郎さん、池上彰さん、堀江貴文さん等の有名人が投資アドバイスをするというニセ広告がSNS上には氾濫しており、このような有名人のニセ広告にアクセスしたことがきっかけで、お金を騙し盗られる詐欺被害が急増しています。SNS上のニセ広告からLINEに誘導され、友達登録して、グループやオープンチャットに参加したことで、FXや暗号資産で儲かっている事例を見聞きしたり、指南役のような人物から投資のアドバイスをされるようになります。その後は、投資の取引ツールのアプリのダウンロードを勧められ、指定された銀行口座に送金すれば取引ができると言われ、登録業者との投資取引ではあり得ない個人名の銀行口座へ送金をすると、ダウンロードしたアプリ上に入金が反映され、FXや暗号資産の取引で儲かっているように見えます。信用させるためなのか、一度は出金ができる場合もありますが、結局は取引ツールでは利益が出ているように見えても最終的には出金できず、そのうえ出金するためには追加の入金や税金を先に支払うように要求されます。また、勧誘者や取引していると思っていた業者等に連絡がとれなくなり、お金を取り戻せなくなって詐欺に気づくこととなります

有名人を使ったニセ広告と対策

有名人を使ったニセ広告は、AIでフェイク動画やフェイク音声を使い、本当に有名人が投資の助言をすると思わせるような作りになっていますが、SNSの運営業者（プラットフォーム）側の対策はなされていない状況です。実業家の前澤友作さんは、これらのSNSのニセ広告の情報提供を求め、被害状況を確認した上で、プラットフォーム側にニセ広告の削除を求めていましたが、削除等の対応は不十分で、プラットフォーム側に法的措置をとるこ

とを検討していると発表しています。

あなたを守るために知っておきたいこと

本来、投資アドバイスは、投資助言代理業という金融商品取引法に基づく登録が必要であり、投資助言代理業の登録もない有名人が投資アドバイスをするとSNSに広告を載せることはあり得ないと考えてください。

膨大な被害が発生しています

2024年3月に警察庁は、初めて2023年のSNS投資詐欺の被害総額が約277億9000万円で、1件あたりの平均被害額は約1223万円で、1億円を超える被害もあったと公表しています。SNS型投資詐欺は、単独ではなく組織として行われていると思われ、このような手口で詐欺業者が騙し盗ったお金は更に悪質な業者の資金源になっていると考えます。

有名人が投資アドバイスをするという広告を見たら詐欺だと思って、お金を支払う前に立ち止まって、消費生活センターに相談してください。